

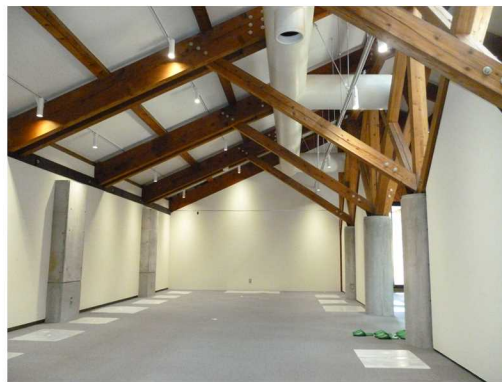
のうじませいじ  
能島征二彫刻ギャラリーオープンについて

笠間焼の展示販売や陶芸体験ができる『笠間工芸の丘』の改修工事に伴い、センタープラザ2階に能島征二彫刻ギャラリーをオープンします。

オープンにあたり、市主催によるオープニング式典およびレセプションを開催します。式典は、日本美術展覧会(日展)や茨城県美術展覧会関係者をはじめ、国会議員や県議会議員等を招待して行い、60名程度の参加者となる見込みです。



能島征二彫刻ギャラリー外観



能島征二彫刻ギャラリー内観

### ■能島征二彫刻ギャラリーオープン概要

#### 《オープニング式典》

- 日時：6月24日(月) 午後3時～
- 場所：笠間工芸の丘内センタープラザ 1階  
(住所：笠間市笠間2388番地1)
- 内容：式典およびテープカット、ギャラリー見学、レセプション(同施設内レストラン“Craft cafe”にて)

※一般の方の入場は、翌日6月25日(火)からとなります

#### 《ギャラリー概要》

- 作品数：25点
- 場所：笠間工芸の丘センタープラザ 2階
- 入館料：無料
- 開館時間：午前10時～午後5時 ※月曜休館(祝日の場合は翌平日)

※詳細は、別紙「能島征二彫刻ギャラリー概要」をご覧ください

この件に関するお問い合わせ

笠間市 産業経済部 観光課 担当:鶴井(つるい)・西城(さいじょう)

電話番号:0296-77-1101(内線516・517) ファックス番号:0296-77-1146 e-mail:kanko@city.kasama.lg.jp

## 能島征二彫刻ギャラリー概要

笠間工芸の丘リニューアルに際し、日本藝術院会員であり郷土の彫刻家である能島征二氏から作品を寄贈いただき、『能島征二彫刻ギャラリー』を新設することとなりました。

ギャラリーは笠間工芸の丘センタープラザの2階に位置し、25点の作品を展示します。既存の作品1点を含み同施設内の能島作品は計26点となります。今回の寄贈品の中には手で触れることができる作品も展示しますので、細部まで造形美を堪能することができます。

### 【展示作品一覧】

題名：自刻像 材質：ブロンズ 寸法：H38×W23×D23cm	春の音 FRP H173×W60×D45cm	あかね雲 FRP H103×W55×D60cm	悠久 FRP H110×W80×D55cm	秋の日 石膏 H58×W46×D32cm
分水嶺 FRP H150×W45×D80cm	夢想 -母と子- 石膏 H125×W60×D70cm	願い 石膏 H122×W94×D55cm	ああ青春 FRP H100×W52×D40cm	夏の女 FRP H180×W70×D40cm
いだく 石膏 H115×W75×D50cm	おんな 石膏 H167×W50×D48cm	海の詩 -エーゲ海にて- ブロンズ H165×W70×D80cm	長い髪の女 ブロンズ H35×W25×D20cm	挑む ブロンズ H120×W55×D60cm
秋の日に FRP H120×W60×D90cm	遠き旅路 FRP H182×W65×D55cm	風の音 FRP H170×W65×D55cm	舞妓 石膏 H58×W46×D32cm	天空を行く FRP H127×W75×D42cm
三華 FRP H175×W136×D60cm	波に乗る FRP H145×W70×D45cm	蒼天 FRP H206×W50×D50cm	想望 FRP H110×W52×D70cm	遠き詩 FRP H122×D50×D46cm

### 【県内の主なモニュメント作品】

「徳川斉昭公・七郎麻呂（慶喜公）像」（1999年）水戸市千波湖畔

「永久に」（2023年）水戸市民会館

「わが道をゆく」（2008年）茨城県立水戸第一高等学校 創立130周年記念像

「水戸黄門さん像」（2002年）水戸市南町

### 【パブリックコレクション】※笠間市以外

- ・日本藝術院
- ・茨城県近代美術館
- ・日立市
- ・徳川博物館
- ・弘道館
- ・高萩市
- ・ひたちなか市
- ・神栖市
- ・常陽銀行
- ・土浦市
- ・筑波銀行
- ・常陽藝文センター
- ・筑西市
- ・茨城県建設技術管理センター
- ・京成百貨店
- ・水戸医師会
- ・水戸市
- ・水戸市博物館

## 【能島征二氏プロフィール】

- 1941年（昭和16年） 東京台東区浅草に生まれる
- 1945年（昭和20年） 笠間に疎開
- 1957年（昭和32年） 彫刻家 小森邦夫氏に出会い、指導を受ける
- 1962年（昭和37年） 第5回親日展「女の首」初入選（1963年以後連続入選）  
茨城県美術展覧会県知事賞（以後1964年も同賞）
- 1964年（昭和39年） 茨城大学卒業
- 1969年（昭和44年） 改組第1回日展「特選」受賞・第3回日展「特選」
- 1970年（昭和45年） この頃より、毎年ヨーロッパ各国の美術館等を訪ね、西欧彫刻の研究を続ける
- 1978年（昭和53年） 第10回日展審査員（以後15回）・第11回日展審査員（以後13回）
- 1990年（平成2年） 第22回日展「五月の女」会員賞受賞
- 1992年（平成4年） 水戸市千波町新アトリエに移転
- 1994年（平成6年） （社）日展評議員（この頃より、ヨーロッパ及びエジプト、中近東、インド、中国等を旅行し、東洋と西欧の彫刻について考察する）
- 1995年（平成7年） 生命の賛歌 能島征二彫刻展（水戸・常陽藝文センター）  
茨城県美術展覧会会長に就任（現在まで）
- 1996年（平成8年） 交感する磁場・六つの個展（茨城県近代美術館）
- 1999年（平成11年） 「徳川斉昭公・七郎麻呂（慶喜公）像」建立（水戸市・千波湖畔）
- 2000年（平成12年） 第32回日展「悠久の時」文部大臣賞受賞
- 2002年（平成14年） 茨城県芸術文化功労者・「水戸黄門さん像（徳川光圀）」建立（水戸市南町）
- 2005年（平成17年） 第61回日本藝術院賞「慈愛一こもれびー」にて受賞
- 2006年（平成18年） 日本藝術院会員に就任
- 2007年（平成19年） 日展常務理事、日本彫刻会常務理事  
茨城県特別功労者表彰
- 2008年（平成20年） 水戸市文化栄誉賞受賞
- 2010年（平成22年） （公社）日本彫刻会理事長（2012年まで）  
水戸市文化栄誉賞受賞記念 能島征二の軌跡展（水戸芸術館）
- 2014年（平成26年） （公社）日展副理事長就任（2018年まで）
- 2018年（平成30年） 日本藝術院会員五人展（茨城県近代美術館）
- 2020年（令和2年） 紺綬褒章を受章・彫刻歴60年記念「能島征二彫刻作品集」刊行
- 2024年（令和6年） 笠間市の笠間工芸の丘に「能島征二彫刻ギャラリー」開設

現在 日本藝術院会員、（公社）日展理事、（公社）日本彫刻会常務理事、茨城県美術展覧会会長